

② 硫黄島地域の様子（三島硫黄島学園校区）



【硫黄島】



【硫黄岳】

硫黄島はまわりがおよそ 19.1km ある島で、3つの島のまん中にあります。鹿児島港^{こう}からフェリーで4時間です。

硫黄島には田んぼはありません。港のまわりには平らな土地が広がっていて、公共^{こうきょう}しせつや家などのたて物があつまっています。島の西がわは、鬼界^{きかい}カルデラの火口^{かこう}のふちに当たるのでがけになっており、土地が高くなっています。

ここには、ゆたかな自然^{しぜん}をいかした牧場や飛行場^{ひこうじょう}があります。

島には、今でもふん火している硫黄岳^{いおうだけ}がそびえています。今もけむりをあげているので、そのにおいやはいがときどき村の人たちをなやませます。やさいや花などがかれてしまうこともあります。また、島の東がわには、1934年（昭和9年）に海でのふん火でできた昭和硫黄島^{しょうわいおうじま}があります。

島には温せんがたくさんわいています。火山や温せんなどのえいきょうで海がみどり色や茶色になっているところもあります。また、硫黄島には平家物語にまつわる史跡^{しせき}がたくさんあります。



【カルデラかべ】



【東温せん】